

琉球大学学術リポジトリ

2004年夏に実施した調査による座間味島, 阿嘉島,
外地島からの陸水動物の分布記録

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2018-03-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 嶋津, 信彦, Shimadzu, Nobuhiko メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38641



2004年夏に実施した調査による座間味島、阿嘉島、外地島からの陸水動物の分布記録

嶋津信彦

神戸市 (shimadzu1984@gmail.com)

要旨. 2004年9月に実施した調査により、座間味島、阿嘉島、外地島から陸水動物18分類群が確認された。そのうち14分類群はいずれかの島より初めて記録された。

はじめに

琉球列島の陸水性魚類は、面積の小さい島嶼では、既存資料が少ないこともあり、記録されている種数が著しく少ない(例えば吉郷 2014)。これまでに琉球列島の座間味村から報告された陸水性魚類は、座間味島でフナ *Carassius auratus*、カダヤシ *Gambusia affinis*、グッピー *Poecilia reticulata* およびジルティラピア *Tilapia zillii* の計4種、阿嘉島ではオオウナギ *Anguilla marmorata* とクロヨシノボリ *Rhinogobius brunneus* の計2種のみである(林原 1996; 立原 2006; 高田ら 2010)。エビ類においても、阿嘉島からトゲナシヌマエビ *Caridina typus*、ミゾレヌマエビ *C. leucosticta*、ヒメヌマエビ *C. serratiostris*、ヤマトヌマエビ *C. japonica*、コンジテナガエビ *Macrobrachium lar* およびヒラテナガエビ *M. japonicum* の報告があるに過ぎない(林原 1996; 諸喜田 2003ab)。座間味島の陸水性カメ類は、いずれも外来生物として、座間味島からクサガメ *Mauremys reevesii*、ミナマイシガメ *M. mutica* およびアカミミガメ *Trachemys scripta*、阿嘉島からミナマイシガメが見つかった(前之園・戸田 2007; 若月・亀崎 2013)。イモリ類では、座間味島、阿嘉島、慶留間島および外地島からシリケンイモリ *Cynops ensicauda* が記録されている(当山 1983; 前之園・戸田 2007; 角田ら 2008)。今回、座間味島、阿嘉島および外地島のこれら陸水動物において追加記録があるのでここに報告する。

材料と方法

2004年9月3-10日に座間味島の内川水系座間

味ダム貯水池(図1, St. 1)とダム下流(St. 2)、安護の浦の西側の川(St. 3)と東側の池(St. 4)、阿嘉島のナカマタ川(St. 5)および外地島の池(St. 6)の計6地点で採集・目視により陸水動物のうち、カメ類、イモリ類、魚類、及び十脚甲殻類を対象に、分布の確認を行った。採集にはタモ網、投網、籠網を用いた(規格・努力量未記録のため不明)。種まで同定できなかった魚類については、標本がないため、科や属などの高次の分類群に留め、1個体のみの場合には1種、複数個体では複数種の可能性ありとした。

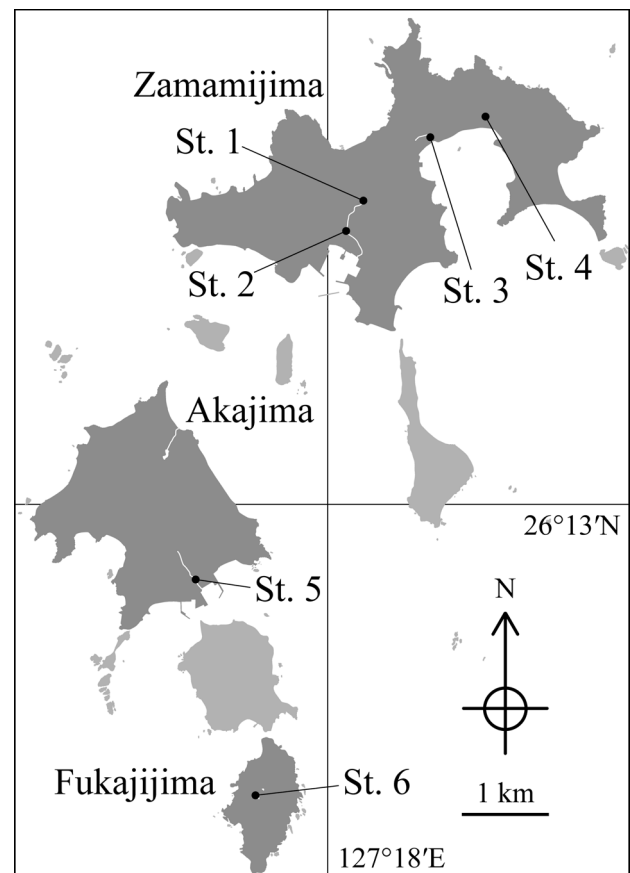


図1. 座間味島、阿嘉島、外地島における調査地点。
Fig. 1. Map of Zamami-jima, Aka-jima, and Fukaji-jima islands, Okinawa, Japan, showing surveyed stations.

結果と考察

今回確認された陸水動物は、カメ類 1 種、イモリ類 1 種、魚類では少なくとも 13 種、エビ類 3 種であり、合計では少なくとも 18 種であった (表 1)。このうち座間味島では 12 分類群、阿嘉島では 5 分類群、外地島では 2 種が初記録であった。カメ類は、アカミミガメが St. 1 で 2 個体目視確認された。本種は、2013 年にダム下流でも 1 個体が目撃されている (若月・亀崎 2013)。イモリ類は、座間味島と外地島からシリケンイモリが確認された。外地島の本種は、2007 年にも St. 6 から確認され、分布する最小の島からの初記録として報告されている (角田ら 2008)。St. 1 の魚類は、カダヤシとヨシノボリ属のみであったが、コイ *Cyprinus carpio* とオオウナギも確認されているようである (座間味ダム管理所職員 私信, 2004 年確認)。St. 3 では、ヤイトハタ *Epinephelus malabaricus* など海域に生息する魚類も含まれ、海水の影響を強く受けていると考えられる。St. 4 と St. 6 ではミナミメダカ *Oryzias latipes*, St. 4 ではフナも確認された。座間味島のミナミメダカは、大干ばつで絶滅したとされ、復元を目的として大宜味村から移殖されている (座間味村 私信, 2014 年確認)。このときミナミメダカは慶留間島と外地島にも移殖されており、またフナも大宜味村から座間味島の St. 4 に移殖されている。移殖前の各島におけるこれらの分布は不明である。また、St. 4 は、著者も参加した高田ら (2010) のフナの採集地である。St. 4 のフナは、その調査により採集された 27 個体において、すべて琉球列島の在来系統であることが明らかにされており (高田ら 2010)、移殖された外来魚であるが、絶滅が危惧される系統であるため、その扱いには混乱が生じるかもしれない。外来生物が生物多様性に及ぼす問題としては、捕食・競争・交雑による影響、生息環境の破壊および寄生虫・疾病の伝播などが挙げられる (日本生態学会 2002)。絶滅個体群の復元や絶滅危惧種の保存が目的であっても、安易に移殖すべきではなく、移殖する場合には影響を評価するため、移殖前の生物相の生息状況や移殖した年、個体数などを記録し、監視する必要があると考えられる。

謝辞

執筆にあたり、ご指導いただいた編集者および 2 名の査読者、分布情報を提供していただいた座間味ダム管理所職員および座間味村役場職員に心からお礼申し上げる。そして現地調査費用の負担を含めた家族の協力に感謝する。

引用文献

- 青柳克, 2013. 沖縄諸島における外来淡水生カメ類の分布に関する新発見. *Akamata*, 24: 21-24.
- 林原毅, 1996. 阿嘉島の淡水域に生息する甲殻類と魚類. *みどりいし*, 7: 28-30.
- 角田羊平・持田浩治・岡本卓, 2008. 慶良間諸島外地島におけるシリケンイモリの初記録. *Akamata*, 19: 15-16.
- 前之園唯史・戸田守, 2007. 琉球列島における両生類および陸生爬虫類の分布. *Akamata*, 18: 28-46.
- 日本生態学会, 2002. 外来種ハンドブック. 地人書館, 東京.
- 諸喜田茂充, 2003a. ヌマエビ科. 西田睦・鹿谷法一・諸喜田茂充 (編著), 琉球列島の陸水生物. Pp. 249-254, 東海大出版会, 東京.
- 諸喜田茂充, 2003b. テナガエビ科. 西田睦・鹿谷法一・諸喜田茂充 (編著), 琉球列島の陸水生物. Pp. 255-261, 東海大出版会, 東京.
- 立原一憲, 2006. 沖縄県における外来魚の侵入と生態系の攪乱に関する研究. 平成 15 年度～平成 17 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書.
- 高田未来美・立原一憲・西田睦, 2010. 琉球列島におけるフナの分布と生息場所: 在来フナと移殖フナの比較. *魚類学雑誌*, 57(2): 113-123.
- 当山昌直, 1983. 沖縄群島の両生爬虫類相 (II). 沖縄県立博物館 (編著), 沖縄県立博物館総合調査報告書 III. Pp. 16-22, 沖縄県立博物館編, 沖縄.
- 若月元樹・亀崎直樹, 2013. 座間味島の内川にてアカミミガメを発見. *亀楽*, 6: 7.
- 吉郷英範, 2014. 琉球列島産陸水性魚類相および文献目録. *Fauna Ryukyuna*, 9: 1-153.

表 1. 2004年9月の調査より座間味島, 阿嘉島, 外地島から確認された陸水動物. 黒丸はその島からの初記録を示す 白丸はその島からの2回目以降の記録を示す.

Table 1. Freshwater animals found from Zamami-jima, Aka-jima, and Fukaji-jima islands, Okinawa, Japn from a survey in September 2004. Closed circles indicate new records from each island. Open circles indicate records that are not first reports.

分類群 Taxa	座間味島 Zamamijima island						阿嘉島 Akajima island		外地島 Fukajijima island	
	St.1	St.2	St.3	St.4	All	St.5	St.6			
カメ類 Turtles										
アカミミガメ <i>Trachemys scripta</i>	○				○					
イモリ類 Newts										
シリケンイモリ <i>Cynops ensicauda</i>			○		○			○		
魚類 Fishes										
イセゴイ <i>Megalops cyprinoides</i>		●	●		●	●	●			
ボラ科 Mugilidae							●			
フナ <i>Carassius auratus</i>				○	○					
ミナミメダカ <i>Oryzias latipes</i>				●	●			●		
カダヤシ <i>Gambusia affinis</i>	○				○					
ヤイトハタ <i>Epinephelus malabaricus</i>			●		●					
コトヒキ <i>Terapon jarbua</i>			●		●					
オオクチュゴイ <i>Kuhlia rupestris</i>		●			●		●			
ホシマダラハゼ <i>Ophiocara porocephala</i>			●		●					
カワアナゴ属 <i>Eleotris</i>		●			●					
ヨシノボリ属 <i>Rhinogobius</i>	●				●					
その他ハゼ科の1種 Other Gobiidae sp.							●			
ゴマアイゴ <i>Siganus guttatus</i>			●		●					
エビ類 Shrimps										
コンジテンナガエビ <i>Macrobrachium lar</i>	●	●			●		○			
ミナミテナガエビ <i>Macrobrachium formosense</i>	●	●			●		●			
トゲナシヌマエビ <i>Caridina typus</i>		●			●		○	●		
各島からの初記録 New record from each island	3	6	5	1	12	5	2			
計 Total	5	6	6	3	16	7	3			

Distributional records of freshwater animals from Zamami-jima, Aka-jima, and Fukaji-jima islands, Okinawa, Japan from surveys in the summer of 2004.

Nobuhiko Shimadzu

Kobe, Hyogo, Japan (shimadzu1984@gmail.com)

Abstract. A total of 18 taxa of freshwater animals were found from Zamami-jima, Aka-jima, and Fukaji-jima islands, in Okinawa, Japan, in September 2004. Fourteen out of 18 taxa were recorded from at least one of these three islands for the first time.

投稿日: 2014 年 7 月 6 日
受理日: 2014 年 8 月 26 日
発行日: 2014 年 9 月 14 日